

COOL

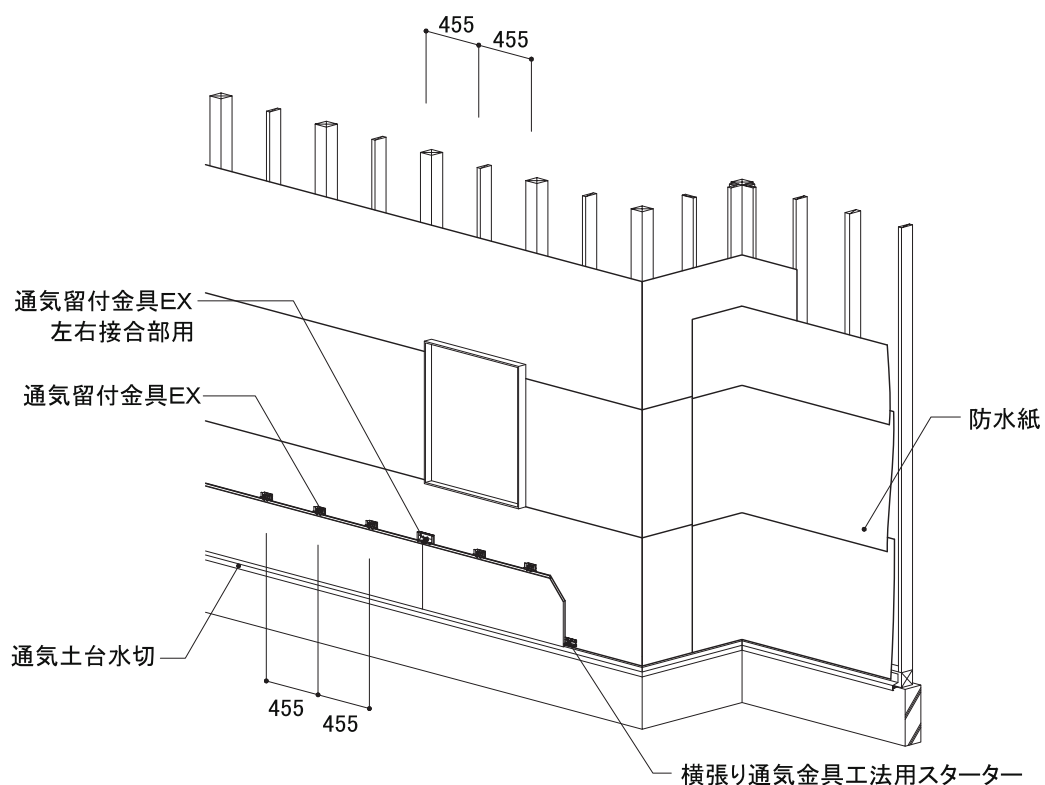
1.5尺X6尺

下地	留付方法	張り方向	木胴縁組
木造軸組下地	通気金具	横	なし

基本構成図

■1.5尺×6尺品(四方合いじゃくり品)

- 通気土台水切は防水紙張りの前に取り付け、防水紙を上にかぶせて施工してください。
- 通気留付金具EXを留め付ける柱・間柱は、455mmの間隔となるように、確認・調整してください。
- 入隅部は金具類の留付下地として、必ず追加下地をいれてください。
- 横張り通気金具工法用スターターは専用ビスを使用し、500mm以下の間隔で留め付けてください。
- 通気留付金具EXは専用ビスを使用して留め付けてください。



COOL

1.5尺X6尺

下地	留付方法	張り方向	木胴縁組
木造軸組下地	通気金具	横	なし

主要部材一覧表

<p>■土台部</p> <p>通気土台水切50 (FTD59**) ※又は通気土台水切40(FTD49**) **は色番号 L=3030mm</p>	<p>横張り通気金具工法用スターター-A (FA850A)</p>	<p>■接合部</p> <p>片ハットジョイナー-17 (FHK1017R)</p> <p>片ハットジョイナー-05 (FHK1105)</p>	
<p>■出隅部</p> <p>出隅16 (FD71**)</p>	<p>■入隅部</p> <p>入隅50 (JR1900)</p>	<p>見切縁22 (FM22**)</p>	<p>■軒天部</p> <p>通気見切縁16 (FTM11**) **は色番号</p>
<p>■留め付け部 (矢印がビス孔の位置です)</p> <p>※ビス孔3箇所 通気留付金具EX (JE825)</p> <p>※ビス孔6箇所 通気留付金具EX 左右接合部用 (JEJ835)</p>		<p>■オーバーハング部</p> <p>オーバーハング水切 鋼板製 (JOH72**) **は色番号</p>	
<p>■ビス (スターター・金具留付用)</p> <p>通気留付金具EX専用ビス 【品番:JK1150】</p>	<p>■モエン用釘 (モエン表面留め用)</p> <p>ステンレスリング釘 【品番:JKW850Bなど】</p>	<p>スペース15 (FS1015) 長さ:1,200mm</p> <p>スペース15(ピースタイプ) (FSP1015) サイズ:40×40×15mm</p> <p>スペース10 (FS1010) 長さ:1,200mm</p>	
<p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○モエン透湿防水シート I (JF2000A) ○モエン透湿防水シートⅢ(JF4100A,JF4150A,JF4125A) ○モエン透湿防水シートⅣ(JF6150A) ○モエン遮熱シート I (JF7150A) ○モエン遮熱シート II (JF7250A) ○両面防水テープ (JF1511,JF1514,JF1515,JF1517,JF1518) 			

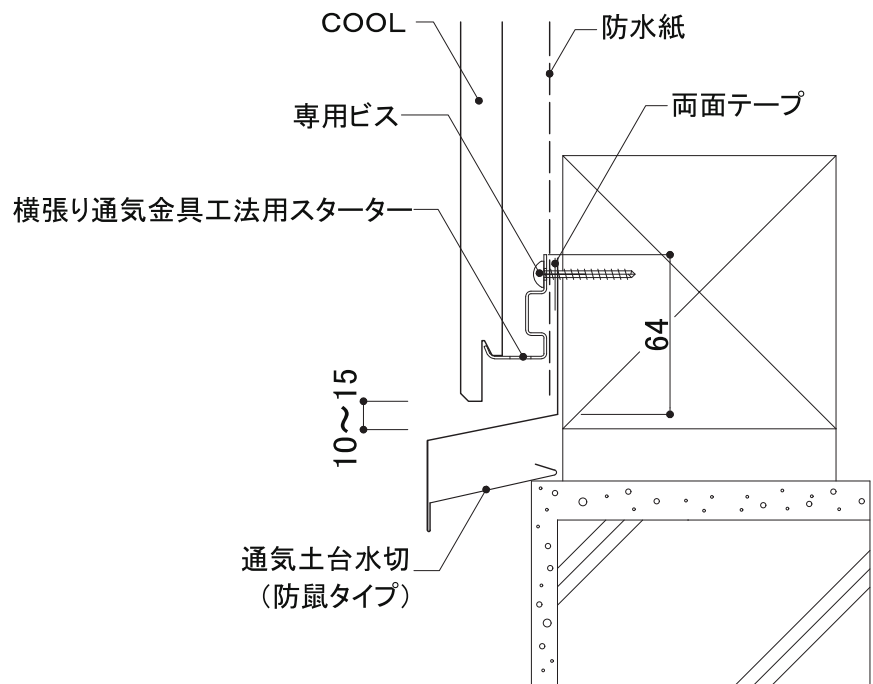
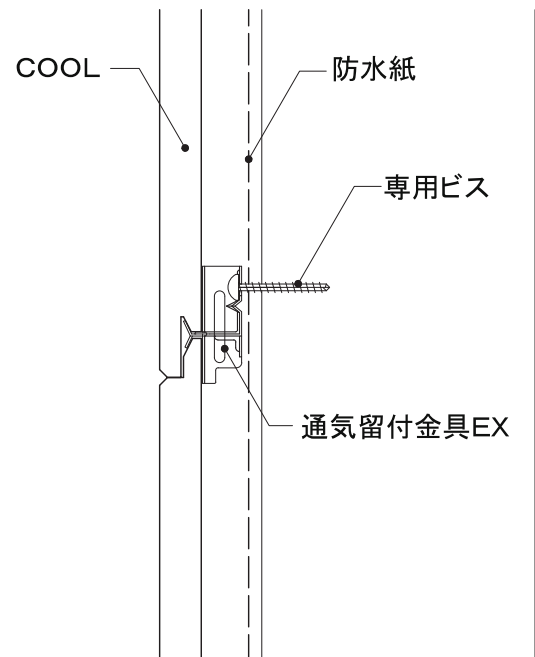
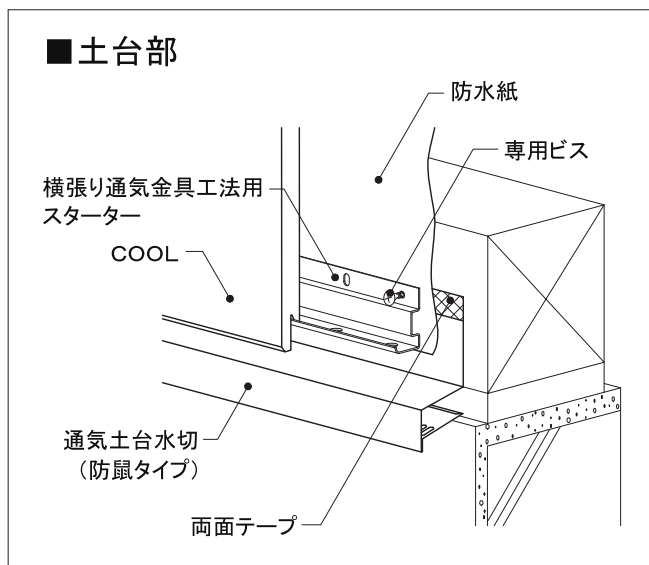
COOL

1.5尺X6尺

下地	留付方法	張り方向	木胴縁組
木造軸組下地	通気金具	横	なし

上下接合部	通気留付金具EX
土台部	通気土台水切+横張り通気金具工法用スターター

- 通気土台水切は土台に500mm以下の間隔でモエン用釘などで水平に取り付けてください。
- 横張り通気金具工法用スターターは専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×35mm)を用い、土台に500mm以下の間隔で留め付けてください。釘打ちは厳禁です。
- COOLの下端と通気土台水切の取り合いは、10~15mmの隙間を設けてください。



COOL

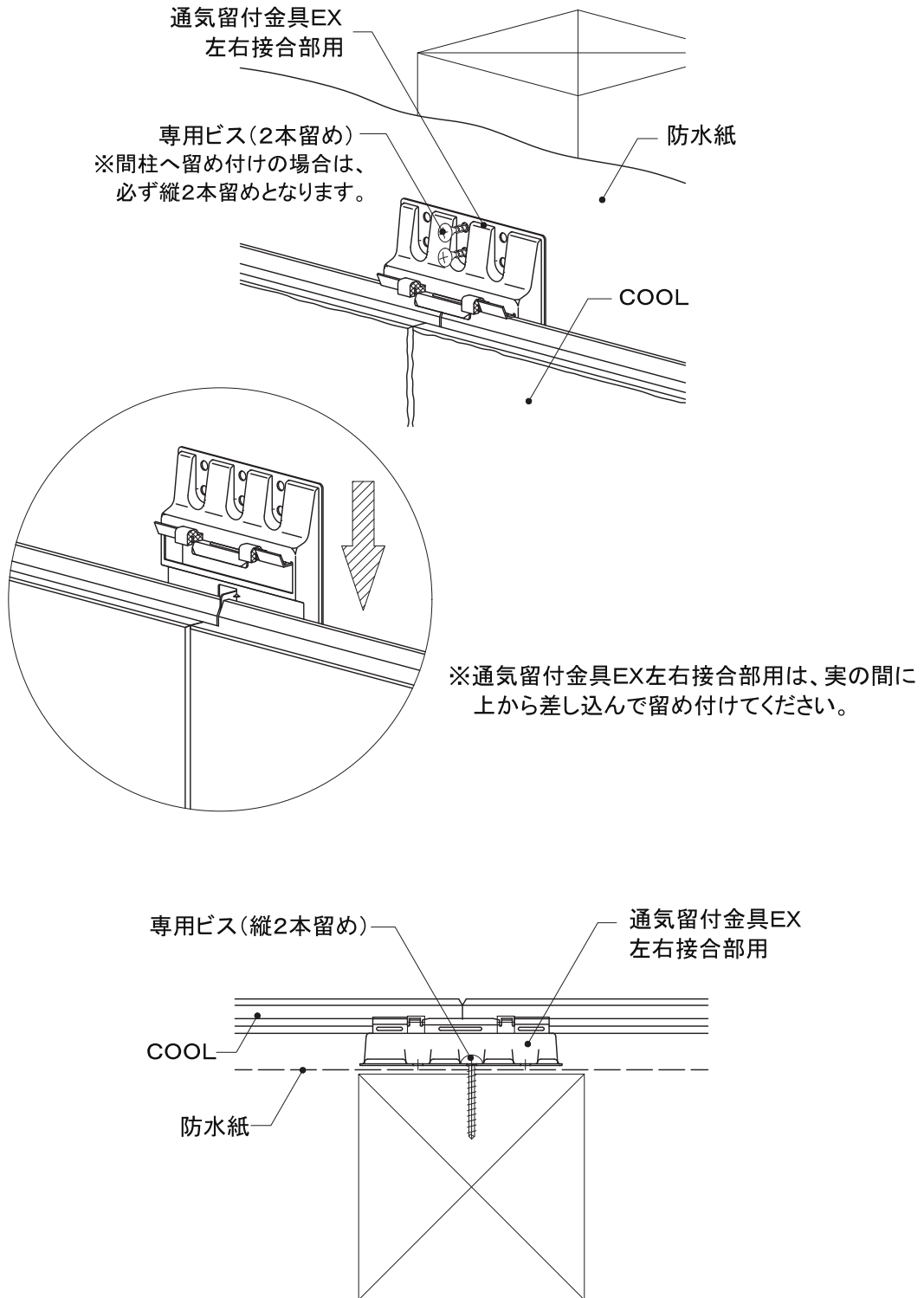
1.5尺X6尺

下地	留付方法	張り方向	木胴縁組
木造軸組下地	通気金具	横	なし

左右接合部

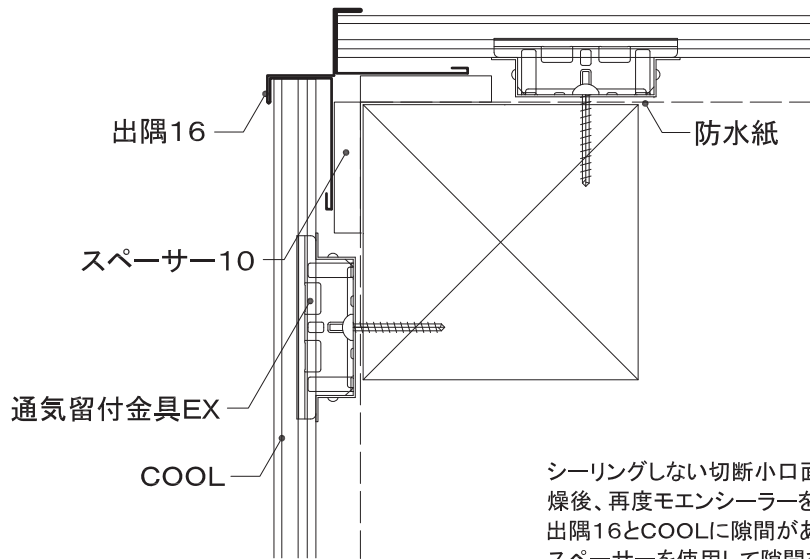
合いじゃくり

○四方合いじゃくり品の左右接合部には、必ず通気留付金具EX左右接合部用を使用し、合いじゃくり部を確実に納め専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×35mm)で留め付けてください。



出隅部

出隅16

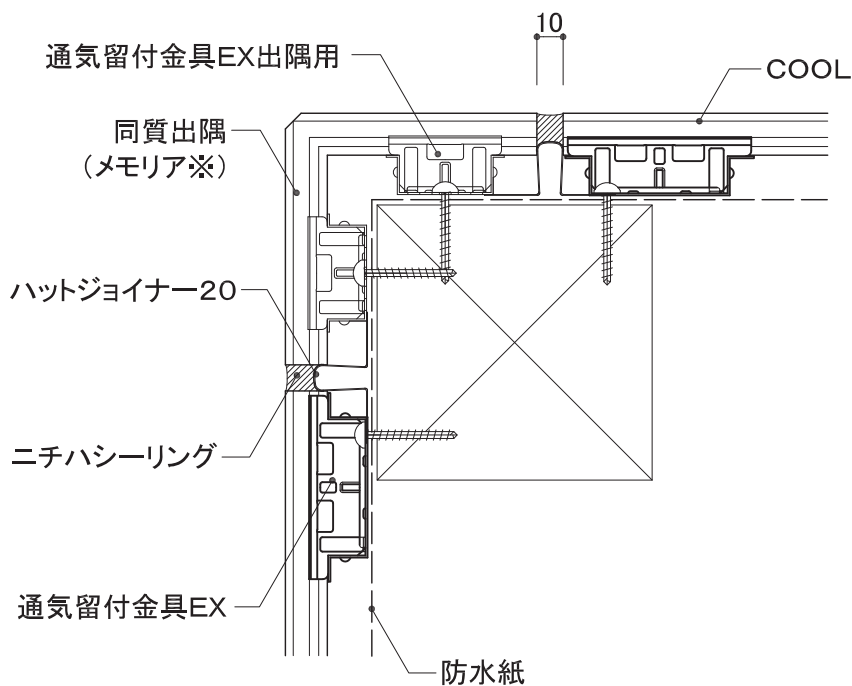


シーリングしない切断小口面にモエンシーラーを塗布する。乾燥後、再度モエンシーラーを塗布する。
出隅16とCOOLに隙間がある場合は、横ずれ防止のためにスペーサーを使用して隙間を埋める。

出隅部

同質出隅(メモリア※、イルミオ)

※一部のメモリアには同質出隅の設定がありません。

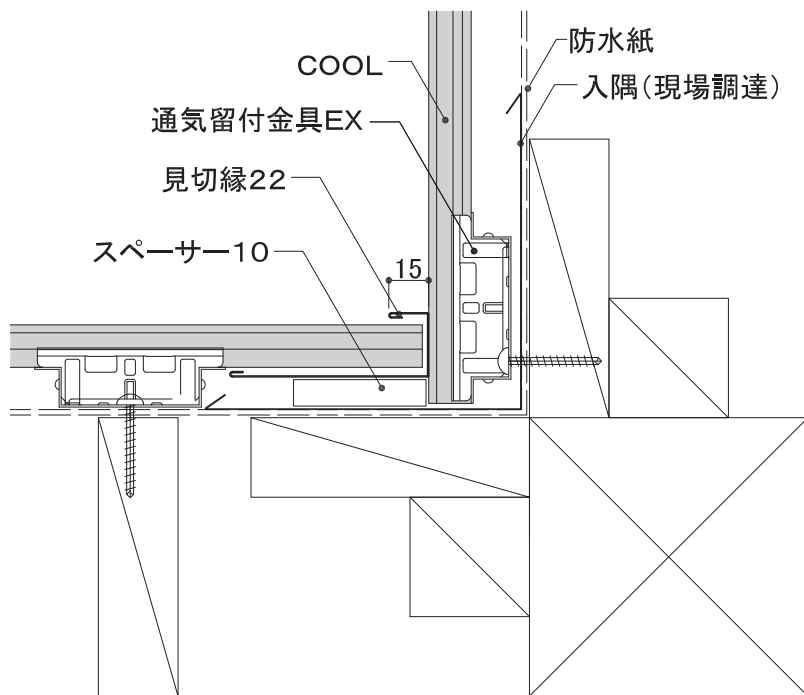


下地	留付方法	張り方向	木胴縁組
木造軸組下地	通気金具	横	なし

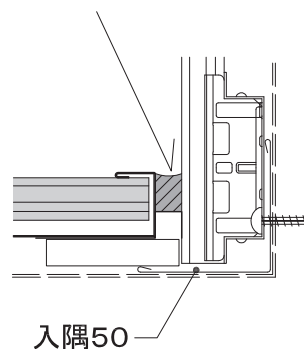
入隅部

見切縁22+入隅(現場調達)
見切縁22+シーリング+入隅50

見切縁22や入隅とCOOLに隙間がある場合は、横ずれ防止のためにスペーサーを使用して隙間を埋める



※入隅(現場調達)を使用しない場合は入隅50を使用し、見切縁22とCOOLの間に片ハットジョイナー17を入れ、ニチハシーリングを充填する。



注:下地鉄骨胴縁はC-100×50×20を使用した場合の図面です。内装側被覆材は防耐火の要求条件に合わせ施工してください。

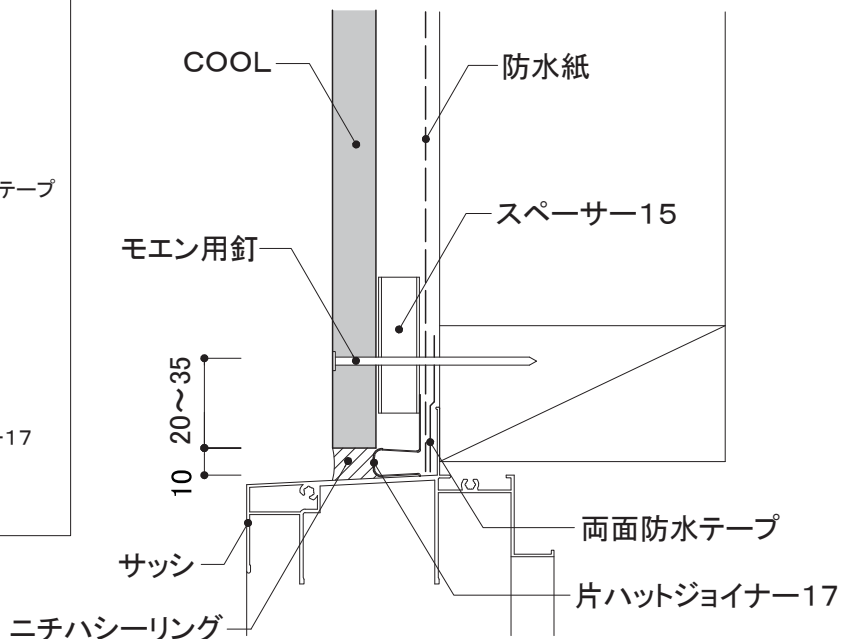
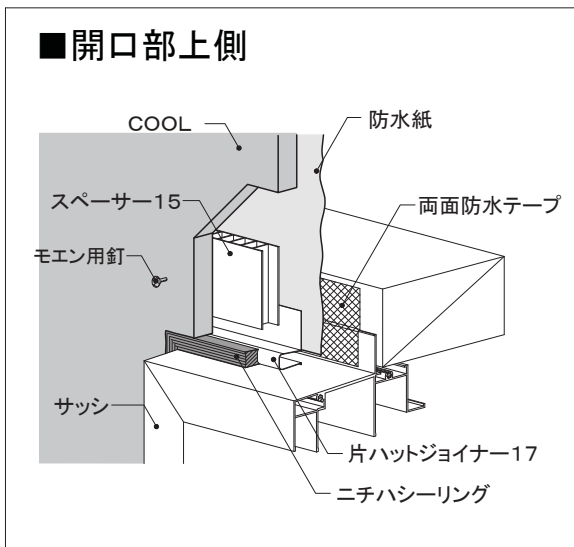
下地	留付方法	張り方向	木胴縁組
木造軸組下地	通気金具	横	なし

開口部周囲

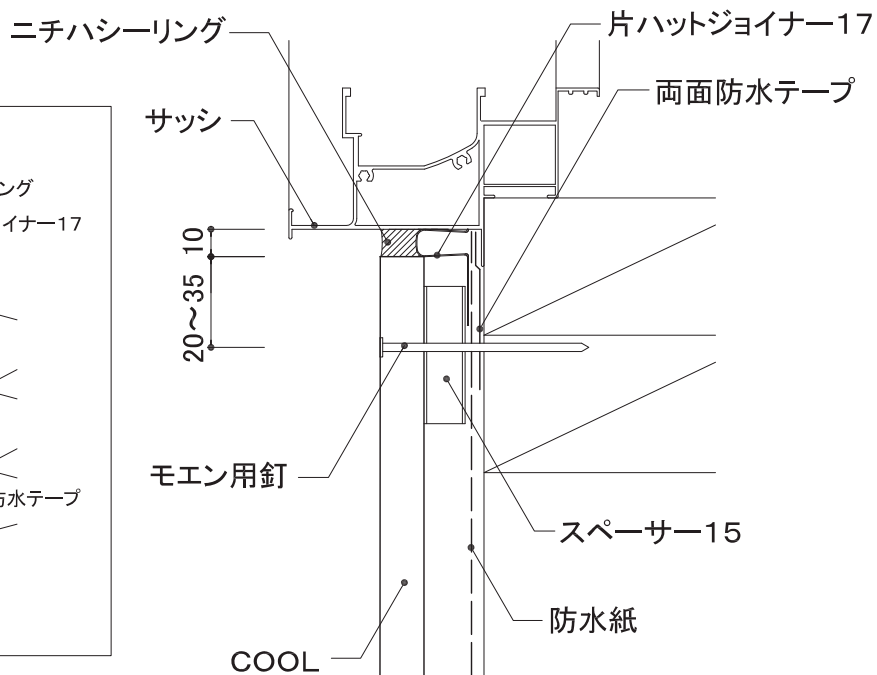
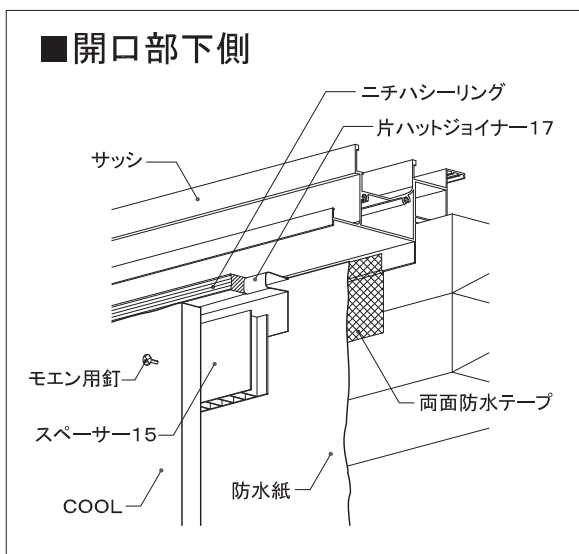
開口部上側

開口部下側

■開口部上側



■開口部下側



〔ビス頭〕

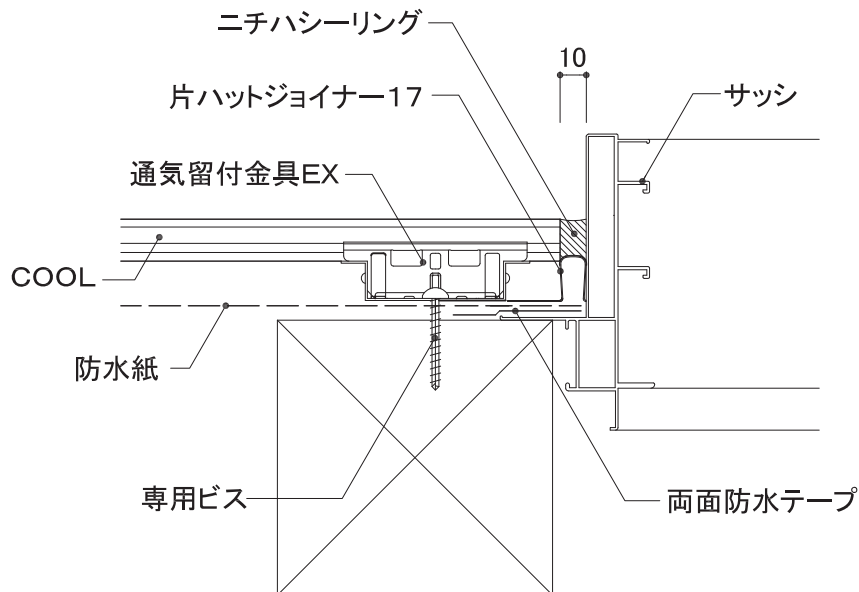
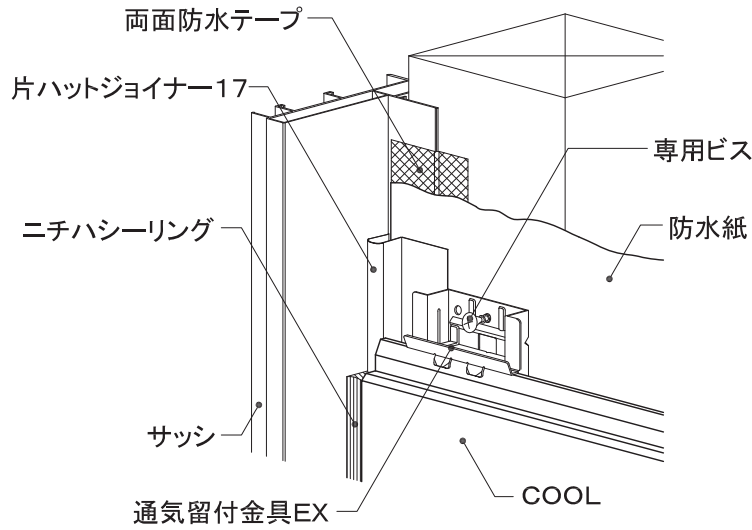
ミライアモノカラー商品:ビス頭が隠れるよう補修シールを貼り付けます。詳細はP2施工留意点をご参照ください。

ミライアインクジェット商品、メモリア:ビス頭の補修はニチハ補修用パテを埋めてから、専用補修液を必要最小限の範囲に塗布してください。

開口部周囲

開口部左右

■ 開口部左右



ミライアおよび一部のメモリアのシーリングはサッシ近似5色とステンレス色の設定です。(表面イメージ色の設定はありません。)

COOL

1.5尺X6尺

下地

留付方法

張り方向

木胴縁組

木造軸組下地

通気金具

横

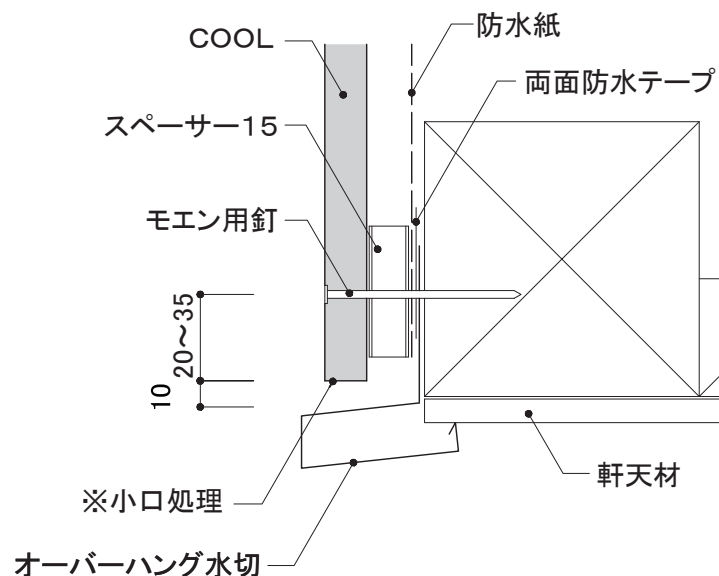
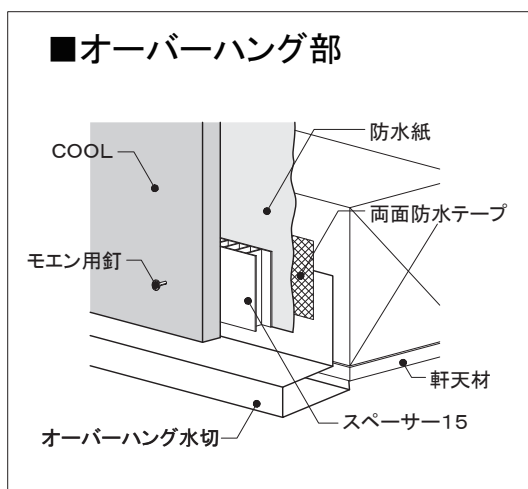
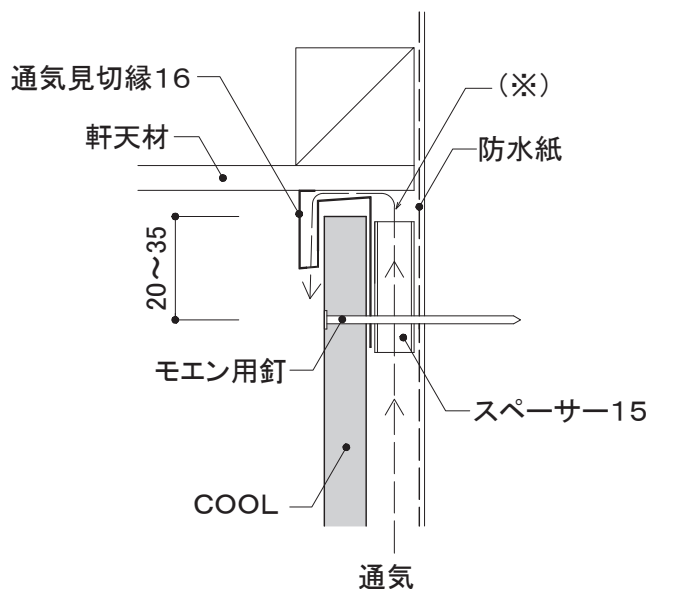
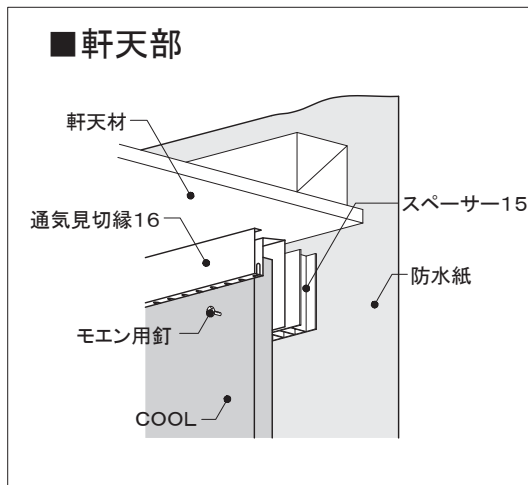
なし

軒天部

通気見切縁16

オーバーハング部

オーバーハング水切(鋼板製)

**小口**

COOL本体のシーリングをしない切断面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、見え掛り部分については小口専用補修塗料または専用補修液を塗布し、それ以外の部分はモエンシーラーを再度塗布してください。

ビス頭

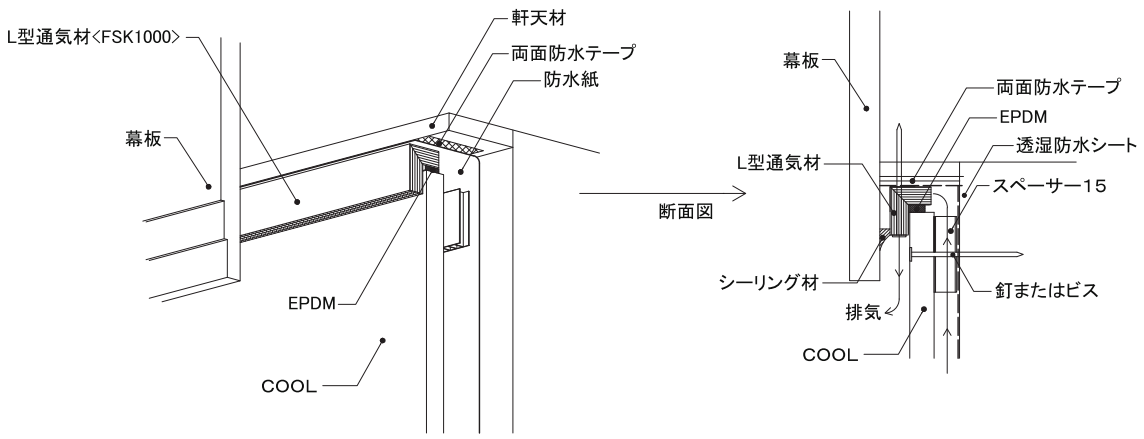
ミライアモノカラー商品:ビス頭が隠れるよう補修シールを貼り付けます。詳細はP2施工留意点をご参照ください。
ミライアインクジェット商品、メモリア:ビス頭の補修はニチハ補修用パテを埋めてから、専用補修液を必要最小限の範囲に塗布してください。

COOL 1. 5尺X6尺	下地	留付方法	張り方向	木胴縁組
	木造軸組下地	通気金具	横	なし

破風・パラペット部(L型通気材を使用した場合)

■破風板納まり例

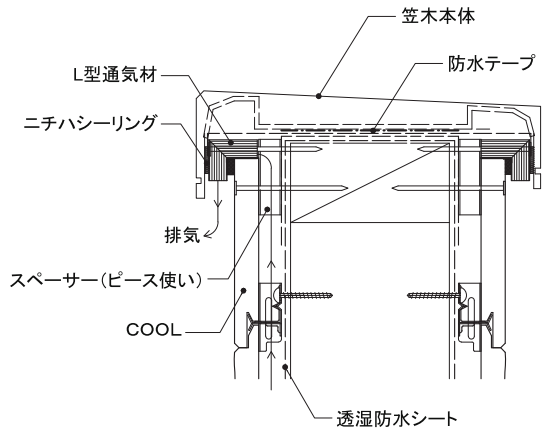
軒の出寸法が少ない破風やパラペット部分などは雨水浸入防止のため通気見切縁のかわりに、図のように、軒天換気部材:L型通気材を使用してください。



注意事項

- 防水紙の張り終わり部は両面防水テープを使用して、入念に止水処理をしてください。
- L型通気材は本体に付いている両面テープの剥離紙を剥がし、EPDMが付いている面を下向きにして、L型通気材を取り付けます。通気材はビスで本体に対し2本以上留め付けてください。
- 切妻屋根の妻面等の傾斜のある部分で使用する場合、モエン表面とL型通気材との隙間を10mm程度確保してください。隙間が狭すぎると、上手く施工できないおそれがあります。COOL施工後はL型通気材とモエンの間の隙間をシーリング処理してください。

■パラペット納まり例



注意事項

- COOLのビス打ち下地のスペーサーは通気を阻害しないように施工してください。
- COOLを施工する際、L型通気材を取り付ける為に、COOL上端を通常より12mm程度下げて施工します。
- L型通気材に付いているEPDMはCOOLの表面に押しつけるように取り付け、L型通気材本体に対してビス2本以上留め付けてください。
- アルミの笠木を使用する際は、L型通気材厚み分、一般の笠木より大きめの物を選定してください。

■その他の施工のポイント

- 部材の側面を完全に止水処理することが重要となります。
- 部材の連結部分は、両面防水テープ貼りもしくはシーリング処理をしてください。
- 部材及び破風(鼻隠し)等仕上げ材の留め付けは、胴縁または躯体に届くよう留め付けてください。

COOL

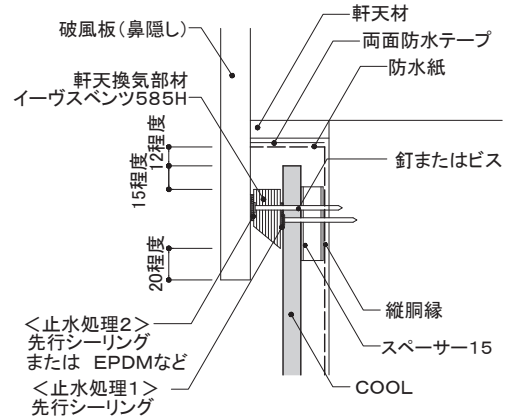
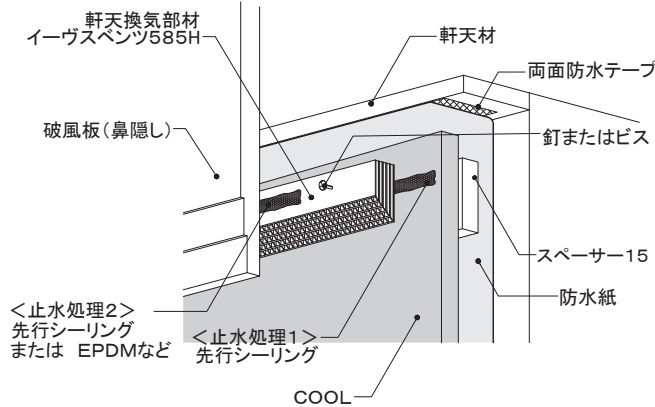
1.5尺X6尺

下地	留付方法	張り方向	木胴縁組
木造軸組下地	通気金具	横	なし

破風・パラペット部(イーヴスベントを使用した場合)

■破風板納まり例

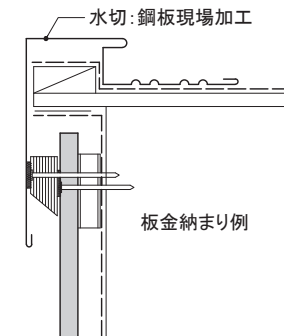
軒の出寸法が少ない破風やパラペット部分などは雨水浸入防止のため通気見切縁のかわりに、図のように、軒天換気部材:イーヴスベント585Hを使用し施工してください。



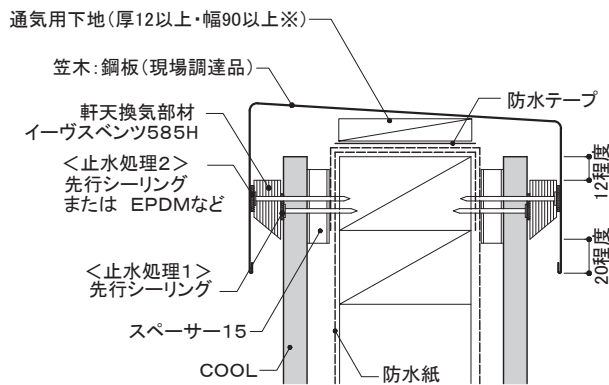
注意事項

- 軒天換気部材は片側が斜めにカットされておりますが、納まり上、部材の上下および表裏に制限はありません。
- 納まりの性質上、外壁工事が先行しますので工程手順に注意してください。
- <止水処理1>は、先行シーリングとしてください。
- <止水処理2>は、先行シーリング又はEPDM等とし、空き寸法に合わせて隙間のないよう施工してください。

■ケラバ納まり例



■パラペット納まり例



16mm品: 横張り金具施工例

注意事項

- 止水処理に関しては、上記同様十分な止水施をしてください。
 - 既製アルミ笠木等は、笠木内部形状が一定でないため十分な止水処理が困難であり、被せ高さ等も不足するため、施工不可となりますのでご注意ください。
 - イーヴスベントは、自治体によって延焼のおそれがある部分での使用が認められていない場合があります。また、地域により開口面積について、通気抵抗係数等により制限される場合があります。各自治体の建築主事、各担当部局、および各金融支援機構窓口にご確認ください。併せて製造メーカー日本住環境様へご相談ください。
- ※長さ2m以下ごとに30mm以上の隙間を設けます。

■その他の施工のポイント

- 部材の側面を完全に止水処理することが重要となります。
- 部材の連結部分は、シーリング処理をしてください。
- 部材及び破風(鼻隠し)等仕上げ材の留め付けは、胴縁または躯体に届くよう留め付けてください。

COOL

1.5尺X6尺

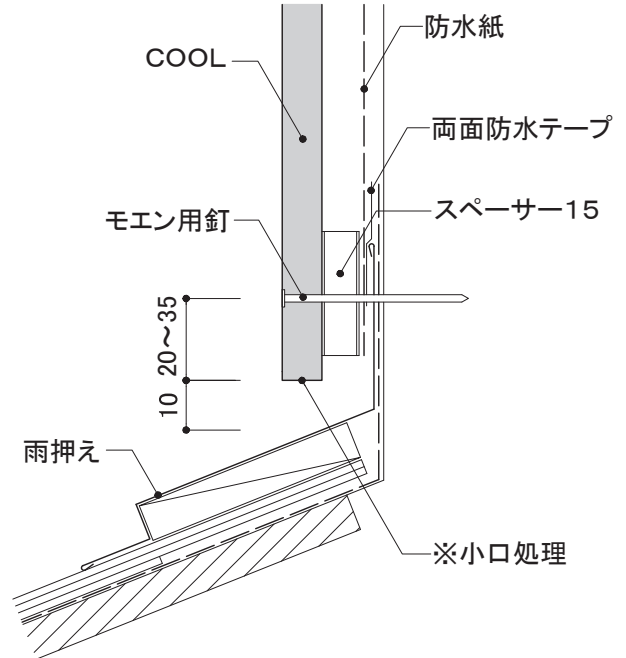
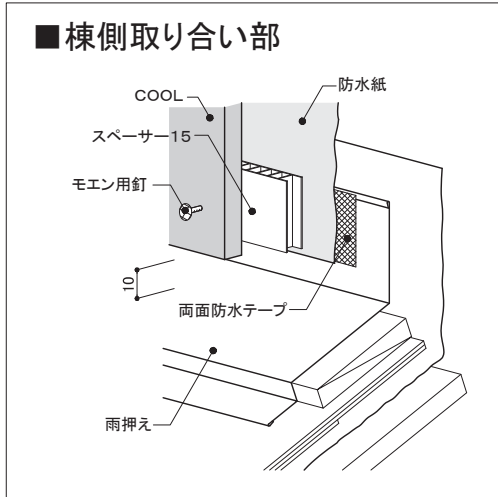
下地	留付方法	張り方向	木胴縁組
木造軸組下地	通気金具	横	なし

下屋根取り合い部

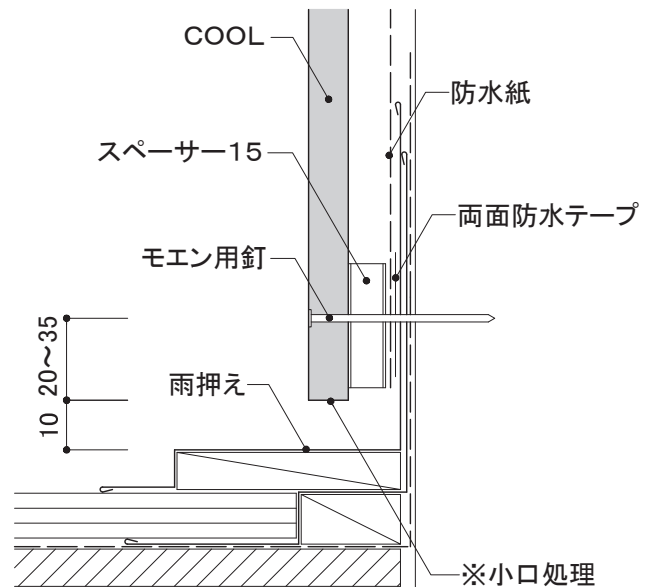
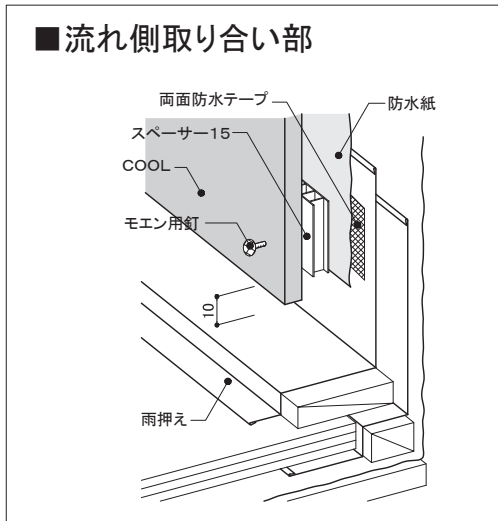
棟側取り合い部

流れ側取り合い部

■棟側取り合い部



■流れ側取り合い部



小口

COOL本体のシーリングをしない切断面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、見え掛り部分については小口専用補修塗料または専用補修液を塗布し、それ以外の部分はモエンシーラーを再度塗布してください。

ビス頭

ミライアモノカラー商品:ビス頭が隠れるよう補修シールを貼り付けます。詳細はP2 施工留意点をご参照ください。

ミライアインクジェット商品、メモリア:ビス頭の補修はニチハ補修用パテを埋めてから、専用補修液を必要最小限の範囲に塗布してください。